

本校の校則について

本校の校則は「凛とした雄城高生（いつでも受験・面接に行ける身なり）」の育成と、長い伝統の中で培われてきた本校に対する地域の信頼感を一層得るために、「清楚」「気品」「端正」をキーワードに設定しています。

1つ1つの校則はすべて上記の目標を達成するためのものであることを踏まえ、自主的に考え行動できる力を身につけ、校訓にある「誠実」、「自主」の精神を養いましょう。

1. 服装・頭髪等に関する決まり

項目	内容	
服装（男子）	夏服	上着…白のカッターシャツ（ボタンダウンも可）とする。 下着…極端に透けないものとする。 ※素肌が見えたり、下着の模様が透けて見えたりするのは品位に欠けます。
	冬服	襟章（校章）を着用する。
	ベルト	色は単色で華美でないものとする。
	靴下	黒、白、紺、グレー（ワンポイント程度）色のくるぶしが隠れる長さとする。 式典時（入学式・卒業式、始業式、終業式）は黒色の靴下とする。
服装（女子）	夏服	下着…極端に透けないものとする。 ※素肌が見えたり、下着の模様が透けて見えたりするのは品位に欠けます。
	スカート	丈は膝が隠れる長さとする。
	靴下	黒、白、紺、グレー（ワンポイント程度）色のくるぶしが隠れる長さとする。 式典時（入学式・卒業式、始業式、終業式）は黒色の靴下とする。 （平成19年に現行の制服に変更した際、靴下までを含めた制服を規定） 寒冷時は黒・ベージュ色のタイツ着用可とする。
全般	頭髪	染色（茶髪）、脱色、及び、整髪料を使用して髪を固めることは禁止とする。
	髪留め	髪留めはシンプルなゴムやピンを使用すること。
	ピアス	禁止とする。
	爪	マニキュアは禁止とする。安全上、爪が手の平側から見て指から出ないこと。
	化粧	禁止とする。
	眉毛	極端に眉を剃ることは禁止とする。

○制服の移行期間（冬服・夏服）は特に設けないので、暑さ・寒さを考えて着用のこと。

○女子のセーターは、冬季の防寒に加え、夏服着用時の寒さ対策及び冷房対策として着用できる。

○マフラー、手袋の着用については、生徒会との申し合わせ事項による。

2. その他の決まり

- 1) 学校生活に不要なものの持ち込みは禁止する。（不要な現金を含む）
- 2) 携帯電話の使用については、「電子通信機器類の使用規定」を遵守すること。
- 3) 自転車による下記の行為は「道路交通法」もしくは、「条例」違反でもあり、これに違反した場合は、命に関わる重大な事案として、「自己改善シート」を活用して厳しく指導する。
2人乗り、傘さし運転、無灯火、携帯電話を扱いながらの運転、イヤホン等を着用しながらの運転、ヘルメット未着用での運転 など
- 4) 高校では法律違反、校則違反、規範意識を逸脱した行為は特別指導の対象となる。
飲酒、喫煙、薬物、窃盗（万引き）、パチンコ、バイク等の無許可受験、道路交通法違反、喧嘩、暴力行為、考査時の不正行為、無断アルバイト、深夜徘徊、いじめ、ネット上の誹謗中傷 など

この校則については、令和4年1月8日より適用する。（令和5年10月1日一部改正）

制服の身だしなみ

冬服



制服とは…

制服は私服とは違い「正装」です。冠婚葬祭すべてに対応できるフォーマルウェア。

だからこそ、きちんと正しく着ると、キレイだしカッコイイ!!

また、「制服」は、警察官・看護師・客室乗務員や、スポーツ選手のユニフォームなどなど…さまざまな職業にも存在するように「制服は所属する集団を示し、仲間意識を高めるフォーマルウェア」であるので、社会からも信頼されています。みんなが着ている制服(学生服)も高校生として、大分雄城台高生として、社会から信頼され、評価されるのです。

間違った着方をしてしまうと、私服以上に違和感を与え、社会からの信頼も損ないます。

「制服をきちんと正しく着る」仲間が増えることで、学校全体のイメージも上がります!!

学生服は、社会マナーや、正しい判断を身に付けるための「1つの教材」です。TPOに合わせて「きちんと正しく」着ることを、学生服が着られる年代にしっかり習得し、身だしなみを整えるコトの大切さを学んでいこう!

夏服



制服は『きちんと正しく』着ればきれいに「気品」があり、「清楚」に見えるように作られている!!

校則にそった着こなしは、この制服をデザイン、制作したプロのデザイナーが考えたスタイルだから、「きちんと正しく」着ればバランス良く、誰もが清潔感や気品を高め、好感度が上がるように作られているんだよ!

身だしなみのポイント

- ① ボタンはきちんと留めて着用しましょう。
- ② スカートの丈は膝が隠れる長さです。
- ③ 袖口や胸元、首元及び、上着から下着やセーター等が出ないように着用しよう。